

♪…コンサートぶらり訪問記…♪ 「柴崎和圭 アコーディオン・リサイタル」

6月28日（土）18：30 開演

川口総合文化センター

（リリア音楽ホール）

演奏者

第1部：柴崎和圭（アコーディオンソロ）

第2部：柴崎和圭（アコーディオン）

三枝朝子（フルート）

垂石雅俊（ギター）

山下 恵（ピアノ）

会場での演奏風景（写真は柴崎和圭氏より提供）



■6月28日、柴崎和圭先生のリサイタルに行ってきました。会場は川口駅を降りてすぐの『リリア』音楽ホール。舞台の正面にパイプオルガンがあって、周りは木目調の壁に囲まれ暖かい雰囲気があり、アコーディオンの音を優しく響かせてくれそうなよい会場。私が座っていた舞台向かって左側の前方の席から後ろを見渡すと、空席を見つけるのが難しいほどの満席で、沢山の方が始まるのを心待ちにしているようでした。✦

～♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

■第二部はアンサンブル。和圭先生の楽しいお話とステキな曲の演奏で、あっという間に時間が過ぎてしまいました。最後のピアソラの曲を演奏する前に和圭先

■第一部は和圭先生のソロ。ほとんどが知らない曲でしたが、フィンランドの自然を題材にした10の小曲が集まった『夏の印象』で和圭先生の幅広い表現力によって曲の世界に引き込まれました。細かい音、太い音、荒々しい音、静かな音、水の音、鳥の音。聴いていると情景が思い描けるような音が溢れて、アコーディオンでこんなに沢山のものが表現できるのかと、ただただ感心していました。

～♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

生がお話してくださった話が印象的で、『孤独』という曲の孤独は寂しい、悲しいものではなくて、自分を見つめなおす時間をくれる良いもの、そこからまた新しい自分を見つけるためのもの。

私はアコーディオンを始めて3年。自分の音をしっかり聞いて、アコーディオンでもっともっと色々な表現ができるように、練習がんばろうと、刺激を受けたりリサイタルでした。

文：大倉暁子

